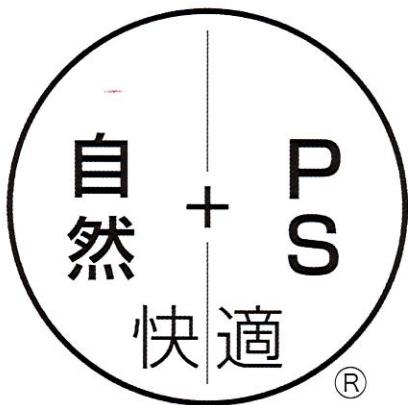


Indoor Climate



私たちピーエスは、「室内気候」をお届けする 温度と湿度の専門企業です

1  
ピーエス  
●室内気候  
センター

# 質の高い製品は質の高い環境から生まれる

1972年、札幌近郊北広島の地にPS札幌工場完成

1972年に建設したPS札幌工場。室内環境をトータルに捉え、"質の高い快適な活動空間をつくり出す暖房システム"を開発。そのためにまず自分たちが身をもって理想の環境づくりを実践。工場敷地に社員一人ひとりの手で木を植えることから始めました。敷地の9割を占める緑地には野鳥やキジなどの小動物が棲息するようになりました。そして20年目の1992年、緑化優良工場に選ばれました。地球環境保全、地域環境への積極的な貢献が認められたのです。

## 放射型暖房システム PS HRヒーター

PS HRヒーターの開発製造を担う札幌工場は、100%受注生産を実現した製造ラインで、営業や開発部門と密接に連携、お客様の細かなご要望に柔軟に対応する生産システムを編成しています。

1993年、品質マネジメントシステム JIS Q9001 : 2000 ISO 9001 : 2000の認証を取得、品質向上への取り組みを積極的に推進しています。



## 北国の室内気候 「PS 札幌工場」

所在地：北海道北広島市共栄41-3

用途：暖房用ラジエータの生産拠点、オフィス、情報センター

竣工：1972年

敷地面積：104,000m<sup>2</sup>

緑地面積：92,000m<sup>2</sup>

※ 1992年 ピーエス工業札幌工場 緑化優良工場として財団法人日本緑化センター会長賞受賞 主催：(財)日本緑化センター

※ 1993年 PS HRヒーター・PS HR(E)（電気・温水ヒーターシリーズ）第6回 北の産業デザインコンペティション大賞・実行委員会会長賞・北海道知事賞 各賞受賞

※ 1993年 バス停待合室（1986年 旧北広島町に寄付）第6回 北の産業デザインコンペティション入選 主催：北の生活産業デザインコンペティション実行委員会

※ 1993年 PS HR(E)（TSTシリーズ・TSNシリーズ・トロッケン）1993年度 通商産業省選定グッド・デザイン商品 主催：(財)日本産業デザイン振興会

※ 1993年 PS HR(E)（TSTシリーズ）1993年度 グッドデザイン・中小企業庁長官特別賞受賞 主催：(財)日本産業デザイン振興会

※ 1994年 PS HRヒーター（ベンチヒーター） 第7回 北の産業デザインコンペティション銅賞受賞 主催：北の生活産業デザインコンペティション実行委員会

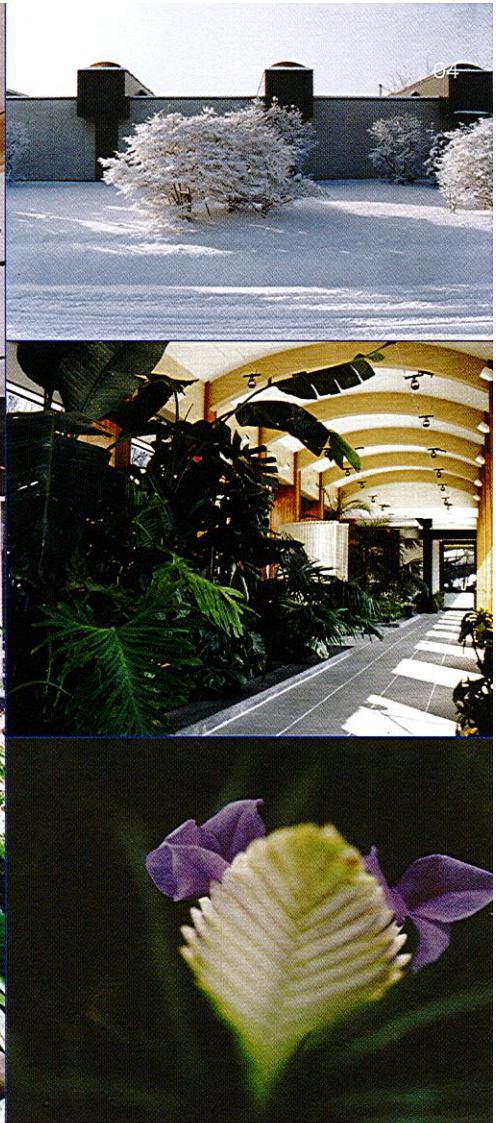
※ 1995年 ピーエス工業札幌工場 緑化優良工場として北海道通商産業局長受賞 主催：北海道通商産業局

※ 1996年 〈わが社のビジネスミーティング「草上の朝食会」〉 TALK第6回優しい食空間コンテスト（食空間デザイン部門）入賞 主催：TALK-TCS

※ 2005年 PS HR(E)（YUCCA・UNOスパイラル）札幌スタイル第1回認証製品

40年を経て、いまなお新しく異彩を放つ工場建物。ヤマナラシの樹林帯に囲まれた敷地内にはリフレッシュできる散策路を設け、冬も樹林の中を歩くスキーのコースになっています。広大な草原

では朝食会や昼食会を開き、ゲストを招いたり、社員の福利厚生に活用しています。



# Madagascar

オフィスと工場をつなぐ「P S マダガスカル」は、社員のリフレッシュスペースとしても、アイディアに詰まったときもここを歩くヒラメキが浮かびます。植物には創造性を刺激する効果があるといいます。

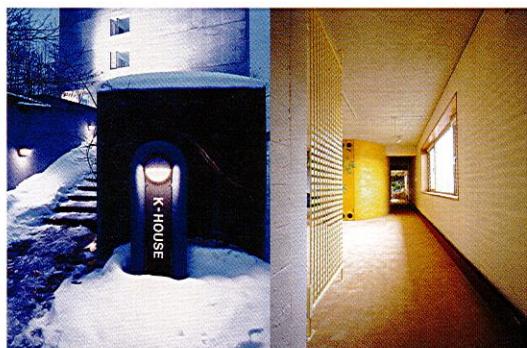


自然な暖かさと「しっとり感」  
ピース湿度センター  
「P S マダガスカル」

北海道の長い冬。北国の理想の「室内気候」を追求した、コンセプトショールーム「P S マダガスカル」。窓の外はマイナス10°Cの銀世界でも、室内には亜熱帯の植物が元気に育っています。大きなガラス窓の下に、途切れなくシンプルにデザインされた、放射型暖房システム P S HRヒータ。窓の結露を防ぎながら、自然な暖かさをつくり出します。植物の蒸散作用とP S の加湿器ABSシリーズがオフィスの室内気候に潤いを与えています。

住まいや施設に。産業の現場に。北国の活動空間を広げるヒントがここにあります。どうぞお気軽にご来場下さい。

## 北国の室内気候とライフスタイルを提案するピースゲストハウス「P Kハウス」



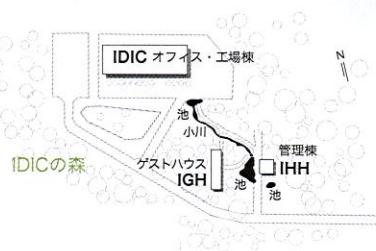
1973年、工場に働く独身社員の寮として建てられた「Kハウス」。使い方が変化しても柔軟に適応できるように設計された建物は、4つの個室とバスルーム、キッチンを1つのユニットとして構成されました。その後、既存のプランを生かしながら壁をとり払い、ゆったりとした寝室をもつ滞在型のゲストハウスとしてリニューアルされ、北国の室内気候とライフスタイルの提案を発信しています。定期的に開催される「Kハウスクラブ」では各界のスペシャリストが集い、異分野の交流を通して室内気候を軸とした新しいコラボレーション・プロジェクトを生み出しています。



## 知的生産性の向上を生み出すPS IDICの生態学的室内気候

2

ピース・室内気候 情報センター



### 生態学的室内気候 「PS IDIC」

所在地：岩手県八幡平市野駄第3地割鬼清水345  
用途：研究開発及び加湿システム、冷暖房用ラジエータの生産拠点  
竣工：1992年4月  
室内気候プロデュース：ピースグループ、Fritz Wassmann(室内緑化)  
建築設計：彦根アンドレア  
構造：RC造、地上2階建  
敷地面積：251,053m<sup>2</sup>・建築面積：1,404m<sup>2</sup>・延床面積：1,862m<sup>2</sup>  
※ 2004年 PS HR(E)〈UNOスパイラル〉2004年度通商産業省選定グッド・デザイン商品 主催：(財)日本産業デザイン振興会  
※ 2008年 IDIC 第9回JIA環境建築賞 最優秀賞 受賞 主催：社団法人日本建築家協会(The Japan Institute of Architects: JIA)

1992年、盛岡近郊八幡平の森に PS IDIC 完成

盛岡近郊八幡平の森に、知的生産性の向上を目指した室内気候の探求の場として、また新しい生産工場として建設されたIDIC。それはピースが暖房専用のPS HRヒータを送り出してちょうど20年後の1992年のこと。

暖房における技術をベースに開発を進めてきた除湿型放射冷暖房システムPS HR-C。ついにここIDICに組み込まれ、四季や一日の変化、周囲の自然を織り込んだ、真に創造的で健康的な生態学的室内気候の実践の場をスタートさせました。

### 除湿型放射冷暖房システム PS HR-C

PS HR-Cは冷水を循環させ冷房と除湿の機能を加えた世界で初めての放射と自然対流による冷暖房システム。恵まれた周囲の自然を最大限に活用したIDICは、画期的な省エネルギー、圧倒的な快適性と持続性を実現させました。

PS HR-Cの熱源は自然エネルギーである地下水。年間12°Cの安定した地下水を夏季には高めの温度の冷水、冬季は低めの温度の温水を密閉式のシステム内に循環させ小さな熱源で連続運転、その放射により穏やかな涼しさ、暖かさをつくり出しています。駆体の温度が安定するため、自由に窓を開けても熱口吐が少なく、木陰越しの新鮮な空気を取り入れることができます。ゆるやかに風が流れる緑あふれるオフィスは正に「第2の自然」。仕事の効率を高め創造性の向上を生み出してくれます。





CASBEE（建築物総合環境性能評価システム）においての仮評価 BEE(Built Environment Efficiency)値3.5 Sランク

IDICOの未来を見据えたサステナブルシステム建築は地球環境時代に新しい地平を開いたと評価され、竣工から16年目の2008年、JIA環境建築賞 最優秀賞を受賞。

# 室内気候デザイン

除湿型放射冷暖房システム

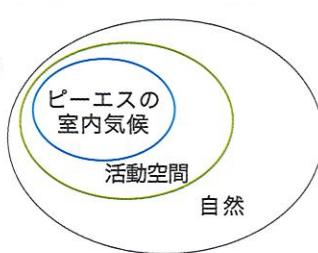
## PS HR-C

自然な涼しさ・暖かさ

中温システムの  
新しいデザインコンセプト

### 新NTR

※中温暖房 Niedertemperatur Radiatoren の技術をベースに開発した除湿型放射冷暖房における中温システム



## PS IDIC 未来を見据えた サステナブルシステム

### ■ 地下水を冷暖房PSHR-Cの熱源に利用

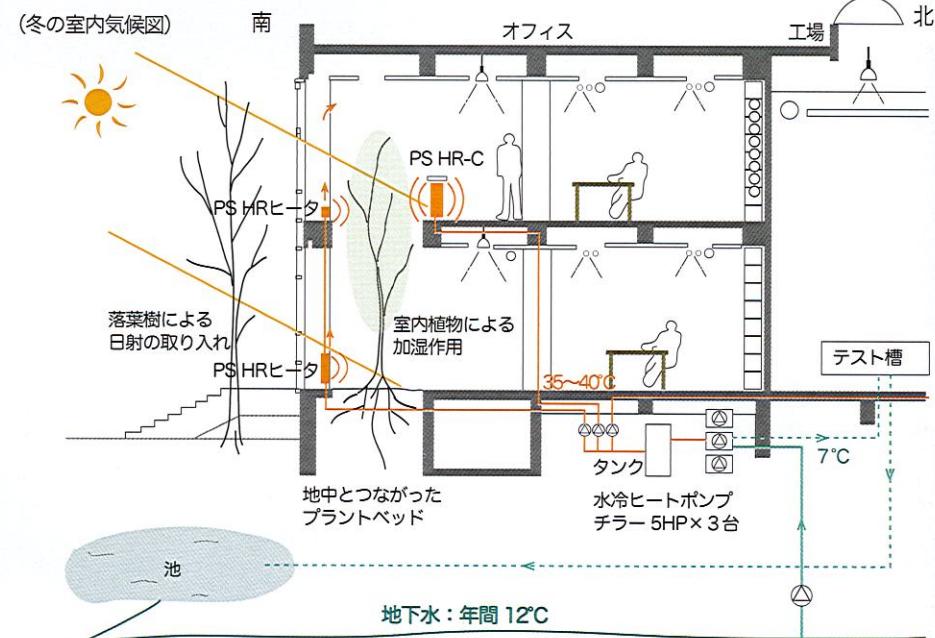
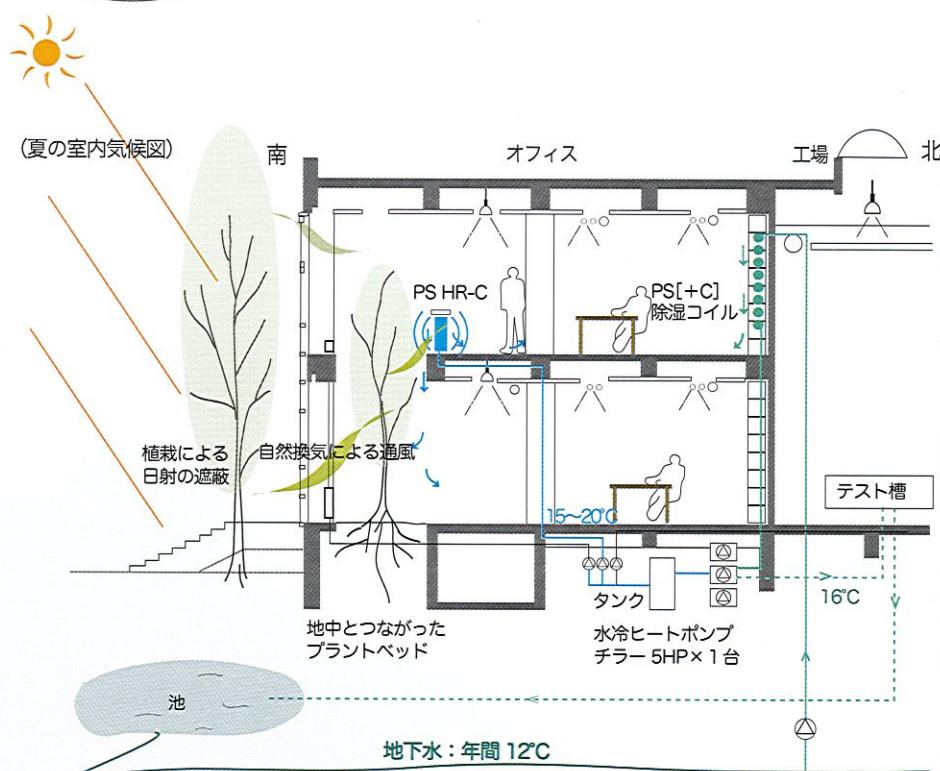
PS HR-Cは中低温域でも冷暖房が可能なので、年間12°Cの安定した地下水を熱源に活用。地下水はさらに工場の製品テストに再利用し、小川を通って池に注がれ再び地中へ戻されます。

### ■ PSHR-C、自然通風との併用

PS HR-Cは季節によって自然通風を併用することで、その快適性はさらに高まります。蒸し暑い季節、森の空気を室内に取り込むことができ、外の自然を室内の快適に活かします。

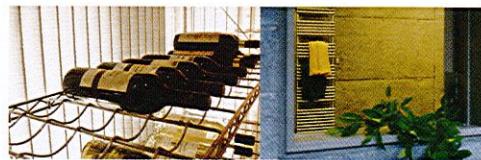


循環するエネルギーにテクノロジーをプラスして



### ■ サステナブルな熱源システム

食品やワインを冷やしたPS HR-Cはキッチンやシャワー室のタオルウォーマーのPS HRヒータで放熱。無駄のない熱源システムとして機能します。



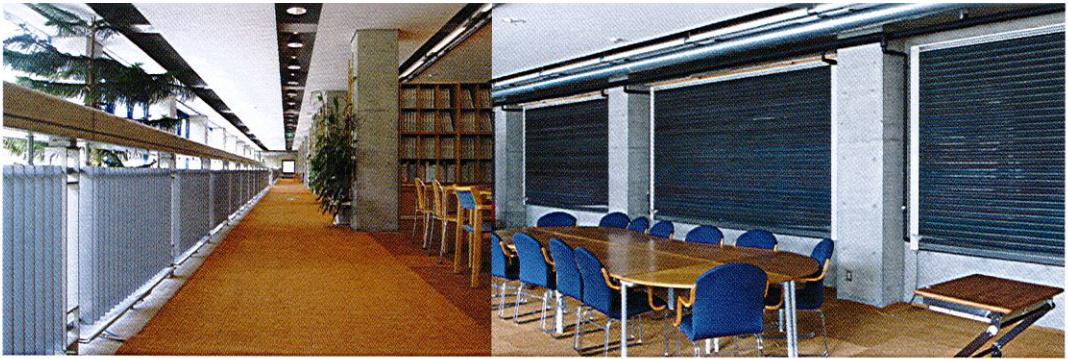
### ■ 計画的に植えられた落葉樹

夏は日射しを遮り、木陰越しの涼しい風を運び、冷房負荷を低減。冬は採光採熱で暖房負荷を低減しています。

### ■ 大地につながったプランツベッド

アトリウム空間には、外部に土を通してつながった4つのプランツベッドにバナナやサボテンなど50種類ほどの植物が生き生きと育ち、私たちの元気さの指標になっています。暖房時、40%の湿度を維持するという調温効果が実測されています。

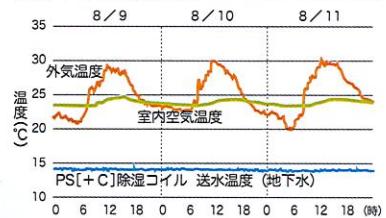




左：吹抜けの手すりとして建築に統合された  
PS HR-C  
右：2階ミーティング  
スペース壁面の  
除湿コイル PS[+C]

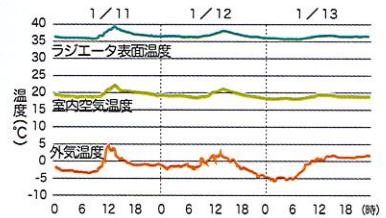


#### 夏の室内気候 夏期3日間の温度変動



地下水を直接流すことができる銅製の除湿コイル PS[+C] と水冷ヒートポンプチラーを介して 15~20°C の冷水を循環させる PS HR-C の台数制御運転。

#### 冬の室内気候 冬期3日間の温度変動



大きな外気温度の変動に対して、室温がゆるやかに変化しながらも安定しています。

